

神奈川芸術プレス Vol.101

July, 2011



金 聖響

7

ARTS
PRESSES

KANAGAWA



CREATOR'S VOICE 120 指揮者

金 聖響
対談

金 聖響 × 玉木正之

マエストロ聖響の「夏休みオーケストラ！」
神奈川県立音楽堂が贈る子どものための4日間

横須賀・三浦エリアに注目！

「杉本文楽 曾根崎心中」復活上演

金 聖響

Seikyo Kim 指揮者

対談 金 聖響 × 玉木正之

マエストロ聖響の 「夏休みオーケストラ！」

この夏、神奈川県立音楽堂で、「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」企画が始まる。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者の金聖響にとっても、

「子どもたちに音楽体験を届ける」試みは初のチャレンジとなる。

企画詳細は4～5ページをご覧ください。まずはマエストロの言葉に耳を傾けよう。

対談による2冊の共著を出版し、スポーツからクラシック音楽まで幅広く活躍する

玉木正之氏を相手に、新企画への意気込みをたっぷり語ってもらった。

「本当にやりたいこと」を見つける

玉木 | これまでいろんな話をしてきたけれど、意外なことに聞いていないのが音楽を始めた頃の話です。子ども時代の聖響さんの、音楽への興味はどうだったの？

聖響 | 自分の記憶がないところでピアノのレッスンが始まっていた、というのが正直なところ。母も叔父も音楽をやっていたので、そのつながりで2～3歳でピアノ、7歳でヴァイオリンを習い始めました。ヴァイオリンは、テレビで観て「あれがやりたい」と自分から

言い出したらしい。ほんとかかなと思うんですが、後で「やめたい」と言ったとき、母から「自分でやりたいと言ったのにやめるの？」と言われたので、うまいことやられたな、と思いましたよ。ヴァイオリンの先生はものすごく怖くて、殴られるわ、ひっぱたかれるわのめちゃくちゃスパルタでした。木曜以外毎日レッスンがあって、当時住んでいた大阪の池田から宝塚まで「しばかれに行く」という感じでした。

玉木 | 指揮者に必要な体力が、そこで養われたと(笑)。

聖響 | 「簡単にはめげない」という精神力も、ですね。

けれど、楽しいと思ったことは一度もなかったんです。勉強も嫌いだったし、学校も楽しめなかった。転校が多かったせいもあって友達もあまりできなかったですからね。当時ハマっていたのはサッカーとインベーダーゲームくらいかな…。

変わったのは、14歳のとき一家でアメリカに渡り、ワシントンDCのユースオーケストラに入ってからです。忘れもしない1984年12月。なにしろ「合奏」をするのが初めてだったので、ベートーヴェンの「レオノーレ」序曲を弾いて、いたく感動しました。

そして85年の年明け、アメリカで放映された小澤征爾さんのドキュメンタリー「OZAWA」を観たのが決定打になって、指揮者になりたいと決めました。15、16歳のときには親にねだってベートーヴェンとブラームスの交響曲全曲のスコアを買ってもらい、フルトヴェングラーのレコードを聴きながらスコアと首っ引きで勉強していましたね。

玉木 | オーケストラは、子どもを音楽に導く手段としていいみたいね。グスターボ・ドゥダメルを生んだベネズエラの音楽教育「エル・システマ」も、全員をオーケストラで弾かせるでしょう。個人で練習するよりずっと音楽が好きになるという。

聖響 | 合奏は楽しいし、人と接する技術、人と一緒に奏でる技術も学べますからね。そして自分よりずっと才能や環境に恵まれた人がこんなにたくさんいる、ということを知ったのも大きかった。

玉木 | しかし15歳で「これだ!」というのをみつけるというのはすごいことですよ。

聖響 | 両親と親戚には、強硬に反対されましたけどね。「努力だけではなんともならない世界にどうして入ろうとするのか」と。だけど「本当にやりたいこと」に出会った



以上「いまこれをやらなかったら、あとで絶対後悔する!」と子どもながらに決意したんです。生まれて初めて親に反抗して、自分で選んだ道でした。

玉木 | 反対されたのがよかったね。反対を押し切ることによって人間、強くなるもんですよ。プロスポーツマンも、親に反対されたプレイヤーのほうが活躍します。

「本気」は子どもに伝わると信じている

玉木 | 今回の「夏休みオーケストラ!」では、普段よりずっと若い聴衆、子どもたちが相手ですね。子どもたちに対する付き合い方とか意識しますか?

聖響 | いや、正直、身近に子どもがいないので、どこまで距離感をつめていいのか、どういう言葉遣いがいいのかとか、戸惑うことが多いです。だから今回のワークショップで、小学生と中学生それぞれのグループと向き合ってみっちり喋る、というのは、僕にとってすごいチャレンジなんですよ。

けれど、子どもって、大人が真剣にやっている姿を見て、何かしらつかんでくれるものじゃないかと。こっちがおもしろいと思っていることを本気でぶつけば、何か感じてくれるに違いない。僕はそう信じてるんです。

たとえばバーンスタインがニューヨーク・フィルとやった「ヤング・ピープルズ・コンサート」。あれ、めちゃくちゃ音楽的なレヴェルが高い中身を、子どもに丸投げしてんじゃないですか。マーラーの回で取り上げる曲だって、交響曲の第4番や「大地の歌」の最終楽章「告別」とか、子どもに対する何の配慮もない(笑)。映像を見ると、客席を映すカメラが、ポカーンとしてる子どもの表情をとらえていたりして笑っちゃうんですけどね。でもそういうふうに難しすぎる内容でも、そこにいた

「記憶」がずっと残っていて、あとになっていろいろな感じ方をしてくれればいいと思うんですよ。

玉木 | 「教育」でおもしろいのは、「誤算」も許容範囲だということ。狙いとは違うところで反応が起きて、それが思わぬ実を結ぶことがあるでしょう。結局、教える側が一所懸命育てようと思っても、やる気のない子は伸びないし、伸びる子はどこにいても伸びていきますからね。伸びる子はどこでどんな授業をしても聞きにくるし、何かしらつかんで帰っていく。

聖響 | そういうもんですよ。僕もウィーンに留学して良かったのは、レッスンを受けるだけでなく、当時の名だたる指揮者がどういう練習をするか、つぶさに見ることができたこと。彼らの練習からいっぱい盗むことができましたからね。それがなよりの財産になってます。「夏休みオーケストラ!」でも公開リハーサルを見ていただくことができるので、ぜひ子どもたちにも何かを「盗んで」帰ってもらいたいですね。

そして今回の企画の一番のポイントは、子どもたちに「直接、音楽家に触れてもらう」ことができる、ということです。「クラシック音楽って、そんなに敷居が高いもんじゃないんだ」——音楽家に身近に接して、それを肌で感じてくれるといいなと思います。

玉木 | うん、それはいい。スポーツ・ファンの多くも、とっかかりは「スポーツマン・ファン」だったりしますからね。この夏、「聖響ファン」の子どもたちがたくさん生まれ、クラシック音楽の応援団に育ってくれるであろうことを期待してます。

構成 荒井恵理子
写真 大野純一



©Eisuke Miyoshi

金 聖響(指揮者) Seikyo Kim

大阪府出身。14歳で渡米、ボストン大学哲学科を経て、ニューイングランド音楽院大学院指揮科修士課程修了。タンゲルウッド音楽祭にて小澤征爾氏に師事。ウィーン国立音楽大学指揮科で湯浅勇治、レオポルド・ハーガーの各氏に師事。1998年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクール優勝。2009年4月、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者に就任。オーケストラ・アンサンブル金沢のアーティスティック・パートナーも務める。10/11年シーズンからベルギー・フランダース交響楽団の首席指揮者に就任。

公式サイト <http://www.seikyokim.com>

玉木正之(作家・スポーツライター・音楽評論家) Masayuki Tamaki

1952年京都市生まれ。東京大学教養学部中退。桐蔭横浜大学、静岡文化芸術大学客員教授。立教大学大学院非常勤講師。主な著書に『スポーツ解体新書』(朝日文庫)、『スポーツとは何か』(講談社現代新書)、『クラシック道場入門』『オペラ道場入門』(いずれも小学館)など。金聖響氏との共著に『ベートーヴェンの交響曲』『ロマン派の交響曲』があり、今年中に『マーラーの交響曲』(いずれも講談社現代新書)を出版予定。最新刊は『大相撲八百長批判を喰う』(飛鳥出版)。

公式サイト <http://www.tamakimasayuki.com>

木のホール 神奈川県立音楽堂

マエストロ聖響の夏休みオーケストラ!

8月20日(土) 15:00

<関連企画>

子どもたちに音楽体験を届ける!

音楽堂バックステージ・ツアー&
神奈川フィル ソロ・コンサートマスター
石田泰尚によるミニ・コンサート
8月17日(水) 11:00~12:00

公開リハーサル&指揮者との交流ワークショップ
8月18日(木)/8月19日(金) 14:00~16:00

公開リハーサル
8月20日(土) 12:30~13:30(予定)

指揮者体験!
8月20日(土)

音楽堂ジュニア・スタッフ募集

8月17日(水)~20日(土)の4日間

※詳細はP4-5をご覧ください。

COLUMN
今月の小コラム

金 聖響さんにQ&A

— 横浜と同じ港町・神戸にお住まいだったことがあるそうですね。

港町でも全然違いますね。神戸は港と山がすごく近くて「山・街・港」がぎゅっと詰まっている。

港町といえば留学したボストンもそうですが、あそこはもっと乱暴なところがあるんですよ。アイリッシュの人が多くて、黒人とアイリッシュの対立にユダヤ人が入ってきたりして“激熱”の町。横浜はそういうファイヤーみたいなものがなくて、もっと上品な感じがします。

— コンサートでもそういう印象がありますか?

そうそう、横浜のお客さんって、ほかよりちょっと冷静な感じがするんですよ。「あれ、もっといい演奏したんちゃう、おれたち?」と思うくらい、反応が薄いことがあって(笑)。ただあるとき気づいたのは、いいときは拍手が長いんですよ。派手ではないけれど、しっかり応援してくれてるんだなあというのが伝わってきて嬉しかったです。

マエストロ聖響の 「夏休みオーケストラ！」

神奈川県立音楽堂が贈る子どものための4日間



©青柳聡

長い夏休みにオーケストラはこぞって子ども向けの公演を用意する。曲の解説や指揮体験コーナーなどを盛り込んだりして、それぞれ趣向を凝らしている。親子で初めてのオーケストラ体験もいいが、もう一步踏み込んだ音楽体験ができる催しを望んでいる方も多だろう。

この夏、ユニークな試みが県立音楽堂で行われる。指揮者金聖響、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、神奈川県立音楽堂スタッフが丸となり企画した子どもたちを対象とした参加型のイベントで、公開リハーサルありワークショップありと盛りだくさんな4日間だ。

木のホール 神奈川県立音楽堂 夏休み公演情報

マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！

8月20日(土) 15:00開演(14:30開場)

全席指定 小学生1,000円 中・高生1,500円 一般3,500円 発売中

第1部 R・シュトラウス/13の吹奏楽器のためのセレナード op.7

バーバー/弦楽のためのアダージョ op.11

チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲 op.35より 第3楽章(ヴァイオリン:木嶋真優)

第2部 ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」より 第4楽章

チケット・お問合せ:チケットかながわ ☎045-662-8866(10:00~18:00 無休)

音楽堂窓口(受付時間13:00~17:00 月曜定休)

〈関連企画〉子どもたちに音楽体験を届ける！

音楽堂バックステージ・ツアー&神奈川フィル ソロ・コンサートマスター石田泰尚によるミニ・コンサート

8月17日(水) 11:00~12:00 参加費:無料 対象:小学生以上と保護者 定員:200名

公開リハーサル&指揮者との交流ワークショップ

8月18日(木) 14:00~16:00 参加費:無料 対象:小学生と保護者 定員:100名

8月19日(金) 14:00~16:00 参加費:無料 対象:中学生と保護者 定員:100名

公開リハーサル 8月20日(土) 12:30~13:30(予定) 参加費:無料

対象:公演チケット購入の方(大人も小中高生もOK) 定員:200名

指揮者体験! 8月20日(土)

対象:公演チケット購入の小中学生 定員:限定2名

〈関連企画 お申込み方法〉

・事前に往復はがきにてお申し込みください。希望者多数の場合は、抽選となります。(7月31日(日)消印有効)

・往復はがきは1日につき1通、各日にちごとにお申し込みください。

・往復はがき記載事項

①希望日 ②参加代表者の方のお名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤参加希望人数をご記入の上、音楽堂までお送りください。

・なお、17~19日にお申し込みの方は⑤の参加希望人数欄には学生○人、大人○人と分けてお書きください。参加学生の人数を上回る人数の大人、及び大人のみ参加は不可とさせていただきます。ご了承ください。

・20日の公開リハーサルにお申し込みの方は⑤に参加される方全員の座席番号をお書きください。

音楽堂ジュニア・スタッフ募集

音楽堂では、コンサートの運営をお手伝いしてくれるジュニア・スタッフを募集します。

詳しくは音楽堂ホームページをご覧ください。

■お問合せ

神奈川県立音楽堂 〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2 ☎045-263-2567

URL <http://www.kanagawa-ongakudo.com/>

金聖響と神奈川フィルが子どもたちのために初挑戦

8月20日(土)に、公演を聴きに来る機会の少ない子どもたちにも楽しんでもらえるようなプログラムを組んで、金聖響指揮、神奈川フィルが初めて子ども向けのコンサートを開く。選曲はマエストロ聖響が行った。吹奏楽器をフィーチャーした曲、弦楽のみの曲、ソリストとオーケストラのやりとりが楽しめる曲、そしてオーケストラの大音響を楽しむ交響曲を用意。演奏時間や曲の構成などを考え抜いたプログラムだ。当日は公開リハーサルがあり、開演前と休憩中はロビーに楽器体験コーナーも設けられる。さらに終演後には出演者との交流会もある。さまざまな形で音楽を体験できる楽しいコンサートになるだろう。

コンサート以外に参加できるイベント

コンサートの前の3日間(8月17~19日)にも、小学1年生から中学3年生までの子どもたちを対象とした関連企画が用意されている。

17日は小学生以上の子どもたちを優先した定員200名が、県立音楽堂のバックステージ・ツアーを体験。音楽堂の建物見学や、建設当時(約60年前!)の非常に貴重な映像も見せてもらえるし、オーケストラ・ピットをのぞいたり、舞台袖を通ったりする体験も。そして神奈川フィルのソロ・コンサートマスター石田泰尚によるミニ・コンサートを聴く。

さらに18日は小学生と引率者定員100名を対象にオーケストラの公開リハーサルを聴き、指揮者との交流ワークショップが開かれる。19日は中学生を対象に同様の構成で実施される。マエストロ聖響が「指揮者の仕事とは？」などさまざまなテーマで子どもたちに語りかける交流ワークショップは、特に期待が高まる。「夏休みオーケストラ！」に込めた思いを熱く語ってくれることだろう。



横浜F・マリノス
中澤佑二

1978年2月25日生まれ
187cm / 78kg / AB型
守備の要。2003、04年の
Jリーグ連覇に貢献。04年には、
Jリーグ最優秀選手賞を獲得。



神奈川フィルハーモニー管弦楽団は、横浜・横須賀をホームタウンとするJリーグチーム「横浜F・マリノス」の試合で、1シーズンに数回、選手入場前のファンファーレを演奏しています。

横浜F・マリノスでセンターバックを務める中澤佑二選手に、夏休みの思い出や、いまの子どもたちに伝えたいことについて、うかがいました。

もっと積極的に参加してみたい人には

今回は、コンサートの幕が開くまでの準備に携わることができる「ジュニア・スタッフ」も募集している(定員20名)。ホール運営スタッフと広報スタッフに分けて公演前の準備を手伝い、スタッフとして参加できるのだ。当日は実際にお客様の案内や裏方の仕事をしたり、その様子を記録したりする。広報スタッフは4日間の様子を記録した「ジュニア・スタッフ新聞」を作成し掲示する。

忙しく働く大人たち、本番前だんだんナーバスになっていくアーティストなどを目の当たりにして、子どもたちは自分に与えられた仕事に自然と真剣に取り組むに違いない。あらかじめプログラミングされた子ども向けのお仕事体験などと比べてみても、その真剣さの度合いはケタ違いだ。

何かを感じるスペシャルな場

山や海のキャンプに出かければ、火をおこせるようになったり、のこぎりが使えるようになるかもしれない。今回の催しに参加しても、楽器の名前と音色を覚えるかもしれないが、今までできなかったことが目に見えてできるようになった、なんてことはたぶんない。何にもできるようにはならないけれど、ホールは「芸術が生まれる場」なので、否が応にも子どもたちはたくさん「何かを感じて帰るだろう。ホール中に響きわたるオーケストラの音に度肝を抜かれ、鳥肌が立ってしまうかもしれない。お気に入りのメロディができて、頭の中でずっとそのフレーズを繰り返すかもしれない。

もしかしたら子どもたちの感性に化学変化が起きて数カ月後か何年後かに何かが起こるかもしれないし、何も起きないかもしれない。でも美しい音楽を間近で聴き感じ入る—その経験は実はとても豊かで貴重な機会なのだ。

「初めて」同士の幸せな出会いが待っている

オーケストラのコンサートも含め、4日間も子どもたちのために催しを開くのは、神奈川県立音楽堂の制作スタッフも今回が初めて。彼らはさりげない気配りを随所にちりばめ、子どもたちが生き生きと動き回れるよう準備を整え、その日を楽しみに待っている。もちろんマエストロ聖響も神奈川フィルのメンバーも、あれも知ってほしい、こんなことを経験してほしいと、せっかくの機会を豊かに過ごしてもらえよう、たくさんのアイデアを調整中だ。

夏休みに何かこれまででない体験を子どもにさせたいとお考えなら、安全な屋内で聴くだけにとどまらない工夫を凝らした体験ができる「夏休みオーケストラ!」に参加してみたいはかが?

(文 結城美穂子)

子ども時代を過ごしたのは埼玉県吉川市です。いまのように誰もがテレビゲームを持っている時代ではなかったので、夏休みになると、友達と一緒に外で遊びまわっていました。秘密基地を作ったり、川で泳いだり、魚やザリガニをとったりして遊びました。楽しかったのは、みんなで待ち合わせして朝5時くらいからカブト虫をとりに行ったことです。思えば、当時から仲間と何か一緒にやるのが好きでしたね。

サッカーを始めたのは、小学6年のとき、友達に誘われたのがきっかけです。けれども小学校・中学校時代は、顧問の先生が怖かったり、先輩・後輩の上下関係が厳しくて充実したサッカー生活をおくることができませんでした。サッカーが心から楽しいと思ったこともなかったんです。楽しめるようになったのは、高校を卒業してブラジルに行ってからですね。

ブラジルはすべてが開放的で、人も陽気で明るくとても素晴らしい国でした。サッカーでは常にグラウンドで解決できたのがよかったですね。チームメイトはグラウンドではライバルでも、プレーを離れたらすぐ優しく、温かく包みこんでくれる仲間でした。そのおかげでサッカーがすごく楽しくなり、いいチームワークを組むことができるようになりました。



選手入場前に、ファンファーレを演奏する神奈川フィルハーモニー管弦楽団

そこで学んだのが、いいチームワークには、お互いを尊重することが大切だ、ということです。僕が、夏休みに友達と遊んでいたときに漠然と感じていたことと同じですね。サッカーは団体スポーツですから、どんなにうまい選手でも一人では何もできない。仲間といいチームワークを組むことが何より大切なんです。子ども時代にいい仲間恵まれていた僕は、遊びながらそういうことを自然と学べたのかもしれないなど、今になって思います。

夏休みは外に出て、友達と一緒に何かをやるにはいい時期ですよ。虫取りでも、キャンプでもスポーツでもなんでもいい。きっとそこから、仲間とのいいチームづくりが始まるはずですよ。

横浜F・マリノスを応援しよう! **ゲームスケジュール(ホーム戦)**

日程	キックオフ	対戦カード	試合会場
7月23日(土)	19:00	ヴィッセル神戸	日産スタジアム
7月30日(土)	19:00	大宮アルディージャ	日産スタジアム
8月20日(土)	19:00	ジュビロ磐田	日産スタジアム
8月24日(水)	19:30	セレッソ大阪	ニッパツ三ツ沢球技場

日程・キックオフ時間は変更になる場合がございます。チケットのお取り扱い、最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。

横浜F・マリノスの練習を見学しよう!

マリノスタウンで行われるトップチームの練習は、常設スタンドで誰でも無料で見学することができます。原則として、毎週火、水曜日の練習終了後にファンサービスエリアを設置、練習終了後の選手たちが立ち寄ります。選手たちとのふれあいをお楽しみください。詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。

※選手コンディションやチーム事情により、全ての選手がファンサービスエリアに立ち寄ることができない場合がございます。※ファンサービスエリアの設置予定、当日の中止等、詳細につきましては公式ウェブサイトにてご確認ください。

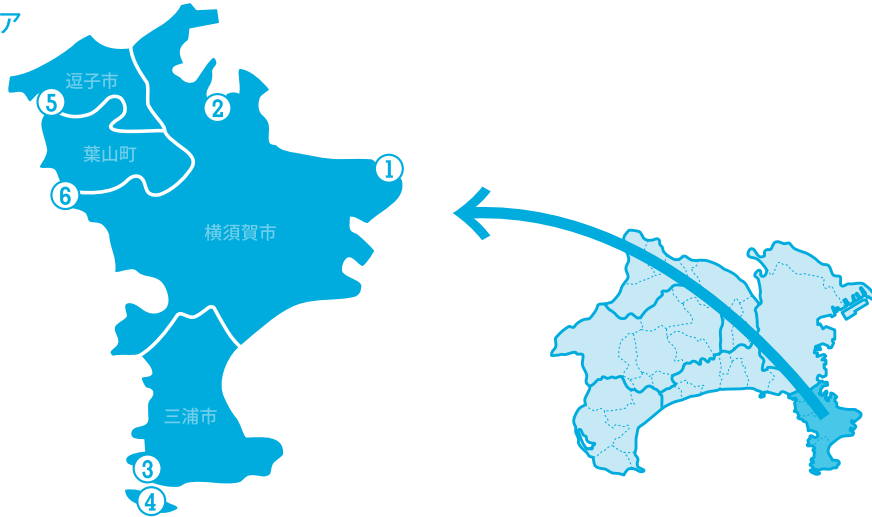
横浜F・マリノス 公式ウェブサイト <http://www.f-marinos.com>
中澤佑二 公式ウェブサイト <http://www.bomber22.com>

横須賀・三浦エリアに注目!

抜けるような夏の青空のもと、海水浴や釣り、マリンスポーツを存分に!

潮風に吹かれながらのアート・文学散策でも、このエリアの魅力を深く体験することができます。

横須賀・三浦エリア



神奈川県立近代美術館 葉山
目の前に広がる葉山一色海岸を眺めながら、開放的な気分で鑑賞が楽しめる

① 横須賀美術館

観音崎の森にそのまま続く広場、木漏れ日のような柔らかい光に包まれたロビーなど、自然との共存が図られている。
7月16日(土)～8月28日(日)「生まれ! おもしろどうぶつ展」
開館:10:00～18:00 休館日:8月1日(月) 観覧料:一般700円、高大生・65歳以上500円、中学生以下無料。
9月10日(土)からは「トリック&ユーモア展」を開催。
お問合せ:☎046-845-1211

② よこすか芸術劇場

最先端の舞台機構をもち、本格的な舞台芸術が楽しめる。
9月11日(日)15:00～ 第2回米海軍第7艦隊バンド&横須賀交響楽団フレンドシップコンサート 指揮:秋山和慶、石野雅樹
他S席2,000円、A席1,500円/9月23日(金・祝)よこすか芸術劇場オーケストラコンサート～クラシック名曲集 指揮:大友直人 管弦楽:東京交響楽団 S席4,000円、A席3,000円、B席2,000円 お問合せ:☎046-828-1602

③ 三崎下町3館

チャッキラコ・三崎昭和館(開館:10:00～16:00)三崎下町に伝わる伝統芸能「チャッキラコ」の資料や衣装などを展示/三浦ガラス工芸館Kirari(開館:10:00～17:00)国内外の作家による手作りのガラス工芸品を展示販売/喫茶館ミサキブレッソ(開館:11:00～21:00)市民の憩いの場となっているイタリアン・パースタイルのカフェ
3館とも水曜定休 お問合せ:三浦海業公社 ☎046-881-6721

④ 白秋記念館

大正2年、28歳のとき10ヵ月ほど三浦市三崎に暮らした北原白秋。失意の詩人を勇気づけた三崎の人々や風土が、有名な「城ヶ島の雨」を誕生させた。記念館では三崎時代の作品に関する資料、自筆ノートや手紙、さらには白秋が暮らした異人館の写真などを展示。三崎時代の白秋を身近に感じることができる。開館:10:00～16:00 月曜休館(祝日の場合は翌日)入館無料 お問合せ:☎046-881-6414

⑤ 逗子文化プラザホール

555席のなぎさホール、約160席のさざなみホールがある。
9月1日(木)11:00～ BEBE@Plaza(0歳から就学前の子どものためのコンサート)鈴木大介(ギター)指定500円/同日14:00～ ティータイムコンサート3 鈴木大介(ギター)一般2,000円、小中学生1,000円/9月23日(金・祝)アフタヌーンコンサート1 松田理奈(ヴァイオリン)一般3,500円、小中学生1,000円(いずれも会場はなぎさホール) お問合せ:☎046-870-6622

⑥ 神奈川県立近代美術館 葉山

葉山の「海」と「山」が調和するように建築され、自然光をたっぷり取り入れた展示室、海が見えるレストランも人気。
7月23日(土)～10月2日(日)「開館60周年 現代美術の展開ザ・ベスト・コレクション」開館:9:30～17:00(入館は16:30まで) 一般700円、20歳未満・学生550円、65歳以上350円、高校生100円
お問合せ:☎046-875-2800

*計画停電に伴う変更のある可能性がありますので、事前に各施設にお問合せのうえ、お出かけください。

神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 演奏会案内

ブルーアイランド氏のおしゃべりコンサート

8月21日(日)13:00開演 横浜みなとみらいホール 大ホール

8月22日(月)15:00開演 テアトロ・ジージョ・ショウワ

指揮:青島広志 ピアノ:長富彩

エルガー/行進曲「威風堂々」、リスト/ラ・カンパネラ(ピアノ独奏)、ガーシュイン/ラプソディ・イン・ブルー、チャイコフスキーのバレエ曲 他
大人3,000円 子ども2,000円 親子ペア4,500円

第274回定期演奏会

9月16日(金)19:00開演 横浜みなとみらいホール 大ホール

指揮:下野竜也 ヴァイオリン:石田泰尚 チェロ:山本裕康

ニールセン/ヴァイオリン協奏曲、グルダ/チェロと吹奏楽のための協奏曲 他
S6,000円 A4,500円 B3,000円 学生(B)1,000円 シニア(70歳以上)は各席種2割引
お問合せ:神奈川県フィル・チケットサービス ☎045-226-5107(平日10:00～18:00)

<http://www.kanaphil.com/> ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

県立神奈川近代文学館 企画案内

特別展「安野光雅展—アンデルセンと旅して」 〈安野光雅美術館開館10周年記念〉

1926(大正15)年、島根県津和野町に生まれた安野光雅(あんのみつまさ)は、84年、オリジナリティーあふれる絵本制作の業績において、絵本のノーベル賞とも呼ばれる国際アンデルセン賞を受賞しました。本展では、『絵本 即興詩人』の挿絵の他、童話「マッチ売りの少女」と「影法師」を素材にし、切り絵を用いた創作絵本「かげぼうし」や、デンマークの風景のなかにアンデルセン作品が登場する「旅の絵本VI」などの原画を中心に展示し、安野とアンデルセンとの関わりを紹介します。

8月6日(土)～9月25日(日) ※休館日は9月19日(月・祝)を除く毎月曜日
一般600円、65歳以上/20歳未満及び学生300円、高校生100円、中学生以下は無料
神奈川県立近代文学館 第2、3展示室
〒231-0862 横浜市中区山手町110
☎045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>

『杉本文楽 曾根崎心中』復活上演

“幻の公演”が、3日間の限定特別公演として実現

当初予定されていた3月23日～27日の上演は東日本大震災の影響で中止となりましたが、このたび8月14日、15日、16日の3日間、限定特別公演として実現する運びとなりました。

現代美術作家の杉本博司が、人形浄瑠璃作品の中から近松門左衛門の代表作『曾根崎心中付り観音廻り』を選び、構成、演出、舞台美術、映像を手掛ける一大プロジェクト。この貴重な機会をお見逃しなく。

『曾根崎心中』の原文が復活

現在、人形浄瑠璃文楽座の公演演目『曾根崎心中』（現行曲）では、演出の都合上、原文の一部が割愛されたものになっています。

『杉本文楽 曾根崎心中』では、原文に忠実な舞台化を目指すために、上演台本には、2008年に富山県黒部で発見された初版完全本（通称：黒部本）を原典として使用、原文にある「観音廻り」を復活させました。1703年の初演作品が2011年の今日、よみがえります。

豊竹嶋大夫（太夫）・鶴澤清治（三味線）・吉田蓑助（人形）と現代美術作家・杉本博司との夢の共演

杉本博司のコンセプトに賛同した豊竹嶋大夫（切場語り）、鶴澤清治（人間国宝）、吉田蓑助（人間国宝）が、近松の完全版ともいえる『杉本文楽 曾根崎心中』で誰も観たことのない「文楽」に挑みます。

「観音廻り」で桐竹勘十郎が一人遣いに挑戦

桐竹勘十郎が、本公演で復活する「観音廻り」において、江戸時代の初演時と同様、人形の一人遣いに挑戦します。



新作の一人遣い人形。フランスを代表するメゾン、エルメスの協力により、スカーフを用いたコンテンポラリーな衣裳が実現。

「杉本文楽 木偶坊 人情 曾根崎心中付り観音廻り」

8月14日(日) 16:00、15日(月) 13:00/17:00、16日(火) 13:00/17:00

KAAT 神奈川芸術劇場 ホール

構成・演出・美術・映像：杉本博司 作：近松門左衛門

出演：豊竹嶋大夫、鶴澤清治、吉田蓑助、桐竹勘十郎 他

SS席12,000円 S席9,000円 A席6,000円 B席3,000円

イス付き立見席2,000円 発売中

主催・お問合せ：公益財団法人 小田原文化財団 ☎03-3473-5235

杉本博司 プロフィール

1948年東京生まれ。74年よりニューヨークに拠点を移し写真制作を開始。「劇場」「海景」などに代表される作品は、明確なコンセプトと卓越した技術で高い評価を確立し、世界中の美術館に収蔵されている。88年毎日芸術賞、2001年ハッセルブラッド国際写真賞受賞。09年第21回高松宮殿下記念世界文化賞を受賞。内外の古美術、伝統芸能に対する造詣の深さでも知られている。10年秋の紫綬褒章を受章。

「杉本文楽 曾根崎心中」関連講座

浄瑠璃本をよむ — 「曾根崎心中 付り観音廻り」(黒部本)より—

～杉本文楽が、なぜ“誰も観たことのない”「曾根崎心中」なのか??～

第1回 7月10日(日) 終了 ～「杉本文楽 曾根崎心中」の上演意義と『観音廻り』～

第2回 8月7日(日) 14:00～17:00 ～破れていない初板本で読む『天満屋』『道行』～

KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ

講師：神津武男氏（早稲田大学高等研究所 招聘研究員／早稲田大学演劇博物館 招聘研究員、博士(文学)(早稲田大学)）

受講料：1,000円 定員：100名

※第2回からでもご参加いただけます。また、3月13日に実施された講座にご参加いただいた方もお楽しみいただける内容です。

主催：KAAT 神奈川芸術劇場(指定管理者：公益財団法人 神奈川芸術文化財団)

チケットの お求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 045-662-8866 (電話10:00～18:00)
 (県民ホール窓口10:00～18:00 / 芸術劇場窓口10:00～18:00 / 音楽堂窓口13:00～17:00月休)

あなたが支える。あなたが楽しむ。 あなたとつくる、カナガワの芸術と文化。

賛助会員募集のご案内

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、質の高い芸術作品の提供と普及のため、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。税制上の優遇措置、ご芳名の掲載等、様々な特典もございます。

詳しくは広報営業課までお問合せください。公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-6520

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員

- 愛知株式会社
- 株式会社アクトエンジニアリング
- 株式会社朝日工業社横浜支店
- 学校法人岩崎学園
- 株式会社NHKアート
- 神奈川県民共済生活協同組合
- 株式会社キョウエイ設備
- 株式会社合同通信
- 株式会社さが美
- 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ
- 生活クラブ生活協同組合
- 株式会社清光社
- 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

- 大栄電子株式会社
- 株式会社東急スペース開発
- ナイス株式会社
- 奈良建設株式会社
- 株式会社日建設計
- 日生商工株式会社
- 日立電子サービス株式会社
- 丸茂電機株式会社
- 三沢電機株式会社
- 森平舞台機構株式会社
- ヤマハサウンドシステム株式会社
- 株式会社ユニコーン
- 株式会社横浜アーティスト
- 横浜エレベータ株式会社
- 横浜信用金庫

- 株式会社横浜ステーションビル
- 永年個人賛助会員
- 川村恒明
- 個人賛助会員
- 江田真子
- 能舞台協賛
- ナイス株式会社
- 協力
- 崎陽軒
- コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社
- 野村證券株式会社横浜支店
- 聘珍樓 横浜本店
- 三菱地所株式会社
- (匿名：1社、1名)

KAAT神奈川芸術劇場 御協賛

- 朝日新聞社
- アサヒビール株式会社
- エバラ食品
- 神奈川県信用保証協会
- かをり商事株式会社
- 株式会社キタムラ
- 崎陽軒
- 株式会社合同通信
- 株式会社ジェイコム湘南
- 日産自動車株式会社
- 株式会社野毛印刷社
- パナソニック電工株式会社
- びあ株式会社
- 日立電子サービス株式会社

- 株式会社ファンケル
- 公益財団法人ボーラ美術振興財団 ボーラ美術館
- 株式会社ホテル、ニューグランド
- 株式会社ボンパドウル
- 株式会社みずほ銀行横浜支店
- 株式会社豊商會
- 横浜銀行
- 株式会社横浜ステーションビル
- リスト株式会社

(2011年6月14日現在)

横浜・山下町周辺のアート、コンサート、イベント情報ピックアップ



作家:リヴァーネ・ノイエンスシュワンダー
Rivane NEUENSCHWANDER
「O Inquilino / The Tenant」2010
Made in collaboration with Cao Guimaraes.
Soundtrack: O Grivo Courtesy Galeria Fortes Vilaça,
São Paulo; Stephen Friedman Gallery, London
and Tanya Bonakdar Gallery, NY.

① ヨコハマトリエンナーレ2011

OUR MAGIC HOUR —世界はどこまで知ることができるか?—

8月6日(土)~11月6日(日) (休場日:8月、9月の毎週木曜日、10月13日・27日)

横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫(BankART、Studio NYK)、その他周辺地域で開催。

開場時間:10:00~18:00(入場は17:30まで)

お問合せ:ハローダイヤル ☎03-5777-8600/050-5541-8600 (ハローダイヤルのみ)

当日券:一般1,600円/大学・専門学校生1,000円/高校生600円



石川・八幡起上

② 横浜人形の家

企画展「切手になった人形たち」

開催中~8月28日(日)

年賀切手になった郷土人形と、その切手の一体展示。昭和29年からの85種すべてを展示する。

開館時間:9:30~17:00(入館は16:30まで) 毎週月曜休館(祝日の場合は翌日)

入館料:おとな(高校生以上)300円、こども(小・中学生)150円

お問合せ:☎045-671-9361



©TAMJIN

③ 神奈川県立音楽堂

鮫島有美子 ソプラノ・リサイタル「日本のうた・世界の歌」(ピアノ:小川典子)

9月28日(水) 14:00開演

人気実力ともに日本を代表するソプラノの名花、鮫島有美子の歌唱による名曲コンサート。

「ラ・カンパネラ」などのピアノ・ソロも聴けてお得感たっぷり!

全席指定 一般4,000円 学生(24歳以下)2,000円 シルバー(65歳以上)売切

お問合せ:☎045-662-8866(チケットかながわ:10:00~18:00)

KANAGAWA PEOPLE かながわ・ピープル 02

「海と山と温泉しかないのよ」——故郷の湯河原について聞かれるたび、そう答えてきました。この自然の恵みこそ、湯河原の宝だと気づいたのは大人になってからです。町を三方から囲む山は四季折々で違った表情を見せ、初夏にはみかんの花の甘酸っぱい香りが町中に溢れます。俳句は「自然と人の関わり」を詠むものですから、自然に触れた少女時代は私の原点になっています。

フェリス女学院短期大学時代は、少女時代から一転、「ハマトラ」ファッションに身を包んで女子大生ライフを満喫していました。山手の瀟洒な洋館、独特な港町の雰囲気が好きでしたね。

今でも東京から東海道線に乗り、小田原城を過ぎて、左手に広がる海に迎え入れられ、山に囲まれた湯河原駅にたどり着くと、「ああ帰ってきた」と心からほっとします。私が旅好きなのも、こうして戻るところがあるからだと思えます。被災地の方々も、一時も早くそれぞれの故郷を取り戻せる日が来るよう、心から願っています。



黛まどか(俳人)

2010年4月から1年間文化庁「海外派遣型文化交流使」として渡仏。「日本再発見塾」呼びかけ人代表。

携帯メルマガを無料配信中:
<http://madoka575.co.jp/mm/>
黛まどか公式HP:
<http://madoka575.co.jp>



森さんぽ 8

森日出夫さん撮影の写真でめぐる横浜散歩

横浜マリントワー

今年1月に開業50周年を迎えた横浜マリントワーは、港ヨコハマのシンボリック的存在。2009年のリニューアルで、おなじみの赤白の外装からシルバーに生まれ変わりました。29、30階の展望フロアからは、横浜が一望でき、ベイブリッジなどの夜景も楽しめます。



県内のアート情報はここで探そう!

<http://www.kanagawa-at.info/> 「かな@」で県内のアート情報を検索できます。



Happyをあげよう。